

- 新第1庁舎の機能 …… 2面
- 新第2庁舎の機能 …… 3面
- 両庁舎に共通の機能… 2・3面
- 今後のスケジュールなど… 4面

2014年(平成26年)10月11日(土) 本庁舎建て替え 特別号

広報いちかわは新聞折り込みでお届けする他、市内各駅の広報スタンドと公共施設で配布しています。入手困難な方で自宅への配布をご希望の場合は、広報広聴課へお問い合わせください。

基本設計案まとまる 市役所建て替え計画順調に進む

老朽化や庁舎の分散などの課題を抱える市役所本庁舎の建て替えについて、庁舎整備基本構想に基づき、設計を進めています。災害時には市民の安心、安全を守る拠点としての機能を備える計画です。今号では、市民ワークショッ

プや説明会で、みなさんから多くの意見を受けながらまとめた基本設計案を紹介します。新庁舎のデザインや構造、各階の機能配置、人や車の動線、環境配慮や災害対策のための機能、景観と緑化の計画などをまとめたものです。

問 ☎ 704-0066 新庁舎建設課



新第1庁舎
八幡1-1-1
(イメージ)

～基本構想から基本設計案へ～

<庁舎整備基本構想>

<設計の基本的な考え方>

1. 利用しやすい庁舎

- ワンフロアに窓口を集約します。
- フロアは初めて来訪する方にも明快なレイアウトです。

2. 人にやさしい庁舎

- 全ての人に配慮したユニバーサルデザインを導入します。
- 直観的で分かりやすい案内表示を整備します。

3. 親しまれる庁舎

- 市民活動を支援するスペースを設けます。

4. 機能的・効率的な庁舎

- フロアは初めて来訪する方にも明快なレイアウトです。
- 合理的なレイアウトでより多くの駐車場を確保します。

5. 安全・安心な庁舎

- 免震構造を採用し、全ての種類の揺れに対応します。
- 災害時に機能を維持するためのバックアップシステムを整えます。

6. 環境にやさしい庁舎

- 自然エネルギーを積極的に利活用します。
- 地域の景観に調和したデザインです。



新第2庁舎
南八幡2-18-9
(イメージ)



MAP

共通の機能

機能的・効率的な庁舎

第2庁舎では東西に執務エリ
通路)とします。
ーターや階段を配置します。
くなり、また、窓口が中通路に
来訪する方にもわかりやすくな

削減

いた地下階をそれぞれ1層ずつ
易レイアウトを採用し、計画時以

心な庁舎

ら海洋型地震による長周期ま
できるよう、複数の装置を組み
す。

アップシステム

部機能を維持するため、電気・
確保します。

備により最大7日間を確保
設備により、継続して確保
業者から通信回線を確保

やさしい庁舎

面緑化による植物の蒸散作用
ーを積極的に活用します。

づくり

四季の彩りを楽しめる植物を植
。
顔をつくり、「ガーデニング・シ
いのある街並みを創出します。



新第1庁舎 平成32年度 供用開始

建設場所	八幡1丁目1番1号	主構造	鉄骨造(免震構造)
敷地面積	7,715平方メートル	階数	地下1階、地上7階、塔屋1階
延床面積	30,375平方メートル	駐車台数	169台
建築面積	5,680平方メートル	駐輪台数	205台
高さ	33.95メートル		

各フロアの概要

- 7階 議会フロア
傍聴席 / 食堂 / 研修室 / 機械室
- 6階 議会フロア
議場 / 議長室 / 副議長室 / 会派控室 / 議会事務局
- 5階 委員会室フロア
委員会室 / 書庫・倉庫 / 備蓄倉庫
- 4階 行政事務フロア
窓口 / 市長室 / 副市長室 / 災害対策本部 / 市民活動支援スペース / 総合情報コーナー
- 3階 行政事務フロア
窓口 / 市民活動支援スペース / 多目的スペース
- 2階 市民窓口フロア
窓口 / 市民活動支援スペース / キッズスペース / 授乳室 / 多目的スペース



新第1庁舎の機能

利用しやすい庁舎

ワンフロア集約型の総合窓口

正面玄関から、フロアの南側には市民課など利用の多い
窓口を、北側には高齢者・障害者・子どもの福祉に関わる窓
口を一列にまとめます。
中央部は待合スペースと通路を配置し、窓口全体を見渡せる
ようにした、分かりやすいワンフロア集約型の総合窓口とします。

親しまれる庁舎

市民活動支援スペース

西側に、会議室や多目的スペース、情報コーナーを設置し
た市民活動支援スペースを設置します。吹き抜けに沿って配
置することで、活動や交流の様子が見渡せるつながりのある
空間とします。
また、シャッターなどで分けし、夜間、休日にも利用できる計
画を検討しています。

環境にやさしい庁舎

北側住宅地に配慮したデザイン



緑が多く、低層
住宅が建ち並ぶ
庁舎北側は、建物
を斜面状とし、そ
の上に緑を植えた
「緑化ルーバー」
を設けます。

▲京成線から見た新第1庁舎(イメージ)

安全に配慮した車と人の動線

自動車

一般車両は市道4287号から地下駐車場へ、タクシーなどは
市道4300号から通り抜けるものとするので、明確な動線とし
ます。また、市道4287号には駐車場右折待機スペース、敷地
内には滞留スペースを設け、安全確保と渋滞解消を図ります。

歩行者

どこからでもアクセスしやすいよう、建物の4隅に玄関を設
置します。JR本八幡駅のある南西側を正面玄関とします。



新第2庁舎

平成 29 年度 供用開始

建設場所	南八幡2丁目18番9号	主構造	鉄骨造(免震構造)
敷地面積	4,522平方メートル	階数	地上5階、塔屋1階
延床面積	11,326平方メートル	駐車台数	74台
建築面積	2,635平方メートル	駐輪台数	112台
高さ	25.10メートル		

新第2庁舎の機能

環境にやさしい庁舎

周辺住宅のプライバシーに配慮したデザイン

建設地は周辺が住宅に囲まれているため、住宅への視線を抑え、同時に朝日や西日などを遮る効果のある「れんがルーバー」を設けます。

また、近接するメディアパーク市川の外装素材であるれんがの活用と周辺への植栽配置により、地域の景観に配慮します。



▲新第2庁舎西側(イメージ)

安全に配慮した車と人の動線

自動車

東側の市道6080号の幅を広げ、一方通行を解除して駐車場の出入口を設けます。市道0117号から市道6080号へ安全に進入できるよう、新たに信号と右折レーンを設置します。

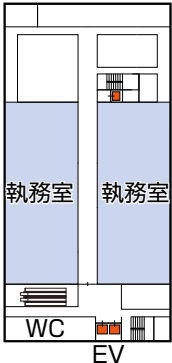
歩行者

JR 本八幡駅をはじめとした各方面からアクセスしやすいよう東西2カ所に玄関を設けます。



各フロアの概要

- 5階 書庫フロア
書庫・倉庫 / 備蓄倉庫 / 食堂
- 4階 教育委員会フロア
窓口 / 教育委員会関係諸室 / 会議室
- 3階 技術事務フロア
窓口 / 会議室
- 2階 技術事務フロア
窓口 / 売店



- 1階 駐車場フロア
玄関 / 駐車場



両庁舎に共通

利用しやすい庁舎／機能

明快なフロアレイアウト

新第1庁舎では南北に、新第2庁舎では東西に、通路(中通路)を設け、その間を通路(中通路)を結んだ端に、エレベーターを配置し、これにより、動線が単純で短くなり、沿って一列に並ぶため、初めて利用する方もスムーズに利用できます。

駐車場の合理化と地下階の活用

基本構想で駐車場として利用可能な地下1階を有効活用し、削減しながら、効率的な駐車場の確保と、地上の駐車台数を確保します。

安全・安心

免震構造の採用

直下型地震による短周期地震動に、全ての種類の揺れに対応するため、免震構造を採用します。

機能維持のためのバックアップ

災害発生時に災害対策本部が、水道・通信などのライフラインを確保します。

電気	非常用発電設備
水道	井戸水ろ過設備
通信	2つの事業用回線

環境にやさしい

自然エネルギーの活用

太陽光発電や井戸水、壁面緑化など、自然エネルギーを活用します。

壁面緑化による庁舎の顔

正面玄関のある壁面には、自然エネルギーを活用した「緑化ウォール」を設けます。華やかで活気のある庁舎の顔「ティ・いちかわ」にふさわしい、潤いのある空間を創出します。



▲新第1庁舎正面玄関(イメージ)



▲新第2庁舎正面玄関(イメージ)

パブリックコメント
ご意見をお寄せください

募集期間 11月10日(月)まで

閲覧場所 市公式Web サイト、市新庁舎建設課、市市政情報センター、市政情報コーナー(中央図書館、行徳図書館、大野公民館図書室、男女共同参画センター)、南行徳市民センター、スポーツセンター

市内在住・在勤・在学の方、市内に事務所・事業所を有する個人・法人・団体、本件に利害関係を有する方

意見用紙に意見、住所、氏名(ふりがな)、または団体名(担当者氏名)を書き、11月10日(月)まで(消印有効)に持参、郵送、FAX 336-8071で新庁舎建設課(〒272-8501※住所不要)。市公式 Web サイトからも提出可。

説明会を開催します

各回とも説明内容は同じです。最寄りまたは都合の良い時間帯の会場へご来場ください。

日	時間	場所
10月18日(土)	14:00~15:30	男女共同参画センター
10月19日(日)	9:30~11:00	文化会館
	14:00~15:30	行徳公民館
10月22日(水)	19:00~20:30	大野公民館

※受け付けはいずれも30分前から。事前の申し込みは不要。

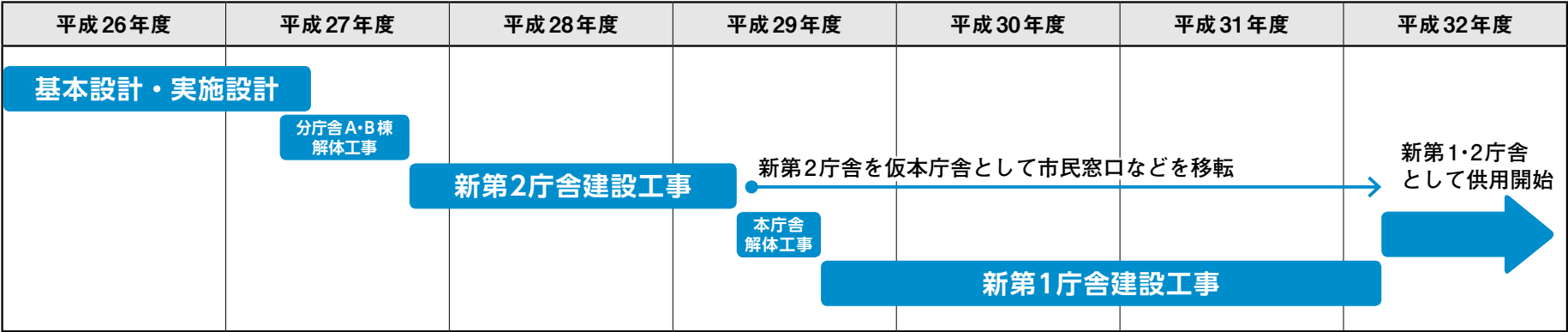
概算事業費

本庁舎建て替えにかかる概算事業費は、新庁舎の建設工事費として222億円、これに仮設庁舎やその他の経費をあわせ、合計245億円です。この他、備品や設備などの費用として14億円を別途見込んでいます。

これらの資金は、国からの補助金や積立金の他、銀行などからの借入金で調達し、毎年度の負担を市の一般会計の約0.6%にあたる8～9億円に抑えます。これにより一時的に財政負担が集中することなく、他の事業に影響しない計画としていきます。

建設工事費		222億円
新第1庁舎 工事費		152億円
新第2庁舎 工事費		52億円
設計・調査、解体工事費など		18億円
仮設庁舎整備費・改修工事費など、その他の経費		23億円
合計		245億円
別途費用（備品及び設備費など）		14億円

市役所本庁舎の建て替え 今後のスケジュール



これまでの取り組み

2010年	10月	本庁舎の耐震補強の検討結果を公開し、庁舎建て替えを含めた検討を発表
2011年	5月	庁内に庁舎整備に関する総合調整を目的とした庁舎整備庁内検討委員会を設置
2012年	2月	庁舎整備の検討状況について広報いちかわ特別号を発行し、あわせてアンケートを実施（無作為抽出5,000人、e-モニター、広報いちかわ）
	3月	庁舎整備基本構想策定委員会条例（以下、策定委員会）及び庁舎整備基金条例を制定 策定委員会の市民委員を広報いちかわ及び市公式 Web サイトにて募集
	5月	策定委員会を設置し、以降9回の会議を開催
2013年	1月	策定委員会での検討状況などについて、市民説明会を開催
	2月	策定委員会より、庁舎整備基本構想（以下、基本構想）の策定について市長へ答申 答申について広報いちかわ特別号を発行し、基本構想についてアンケートを実施（無作為抽出5,000人、e-モニター）
	4月	庁舎整備についての投稿メールボックスを市公式 Web サイトに開設（2013年9月まで）
	7月	基本構想（案）について広報いちかわへの掲載とパブリックコメントによる意見募集を実施
	8月	基本構想（案）について、市内3カ所で市民説明会を開催
	9月	基本構想を策定し、あわせて広報いちかわへ掲載 新庁舎建設設計業務の公募型プロポーザルを公告
	12月	公募型プロポーザルの公開プレゼンテーションを開催
2014年	1月	設計業務委託を(株)山下設計と契約締結し、基本設計を開始
	2月	市民活動支援スペースについて議論する新庁舎建設市民ワークショップの参加者を 広報いちかわ及び市公式 Web サイトで募集
	3月	公募市民などによる市民ワークショップを以降5回開催
	6月	基本設計素案について市民説明会を開催。同時に市公式 Web サイトで意見募集（30日間実施）
	7月	市民ワークショップより市長へ提言

新庁舎建設について詳しくは

☎ 704-0066 新庁舎建設課
URL: <http://www.city.ichikawa.lg.jp/pla01/1111000074.html>